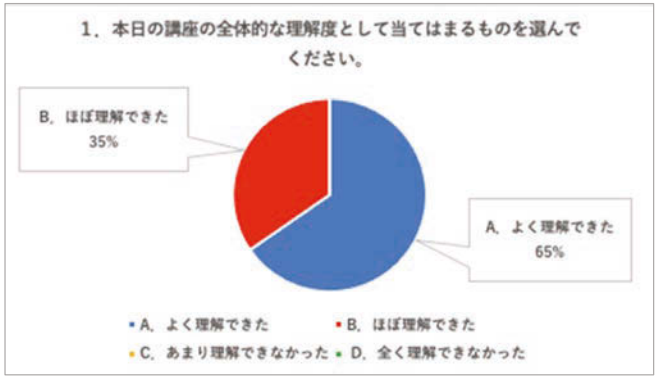
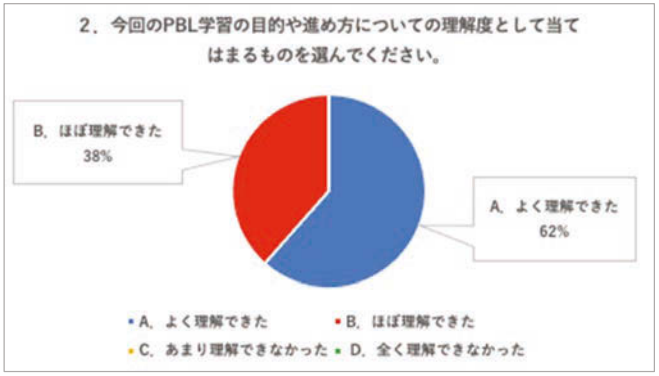
令和７年度　奄美情報処理専門学校　PBL 講座①　講座後アンケート

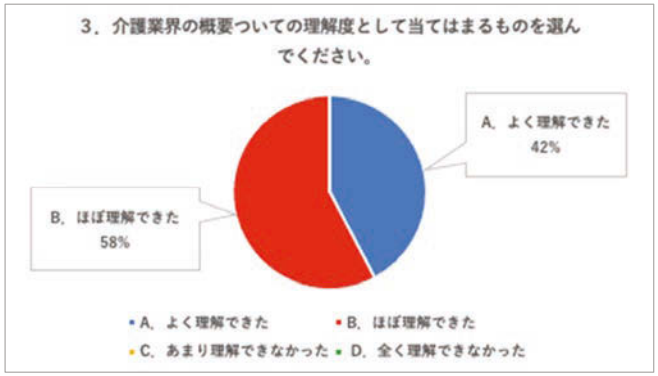
【質問１】



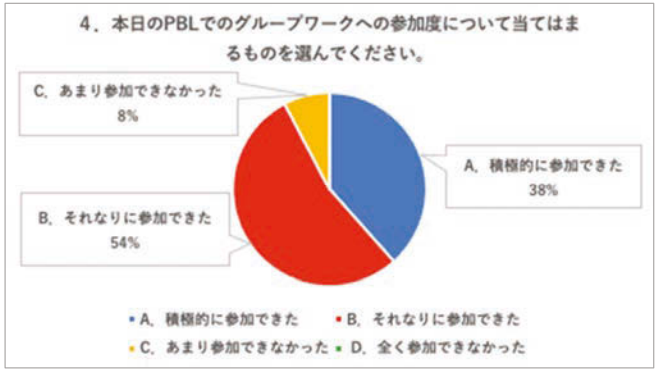
【質問２】



【質問３】



【質問４】



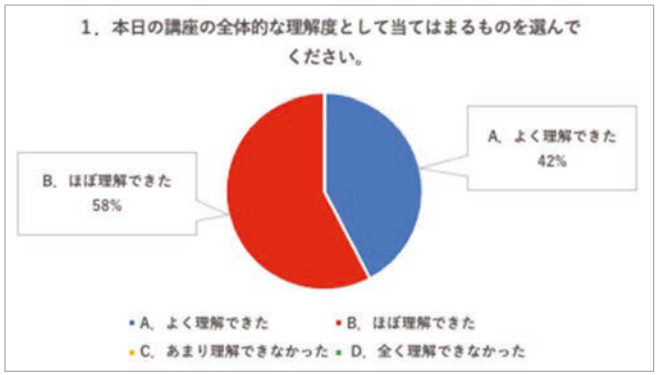
【質問 5】【４.】で選んだ選択肢の理由を教えてください。

- 周りの意見を巻き込みながら、話し合いをまとめることが出来たから。
- あまり話し合いに参加できなかったです
- 自分の感想をワークに書くことができて賛成された
- 自分から意見を言ったり、みんなの意見をまとめたりできたと思う。
- 事前に参加する施設の知識や関連することを確認できる時間が取れたのがいいと思った。
- グループ内での意見出し合いや話し合いが上手くできていた。
- 積極的に意見を出したりスライドに書き込みなどができたから
- 積極的に意見を出し、グループで話し合った内容などをまとめスライドに記入できた。
- 自分の意見を出すことが出来たから。
- 自分の意見を伝えられたし、他の意見も聞くことができたと思うから。
- 案も沢山出せて、発表もできたので A を選択しました
- ある程度意見は出せたが話し合いが積極的にできなかった
- みんなで意見をだしあえた
- もう少しいろいろ書くべきだったかもしれない
- 空いているところなどを自主的に探して埋めた
- 自分の意見も他人の意見も取り入れて話し合いができたと思う
- チーム内でも話し合いができ、ワークも積極的に書けたので良かったです。
- 全体を通した中で話し合いに積極的に参加できていない時間があったからです。
- 積極的に参加できてはいなかったのですが、チームで一緒に考えあうことができたと思います
- 全部の課題できちんと話し合えた。自分の意見もしっかりと言えた。
- 必要なところでは発言発表したが自分から進んで一番最初に発言しなかったため
- 個人で意見を出す際は、しっかりとＷＥＢに記載されている記事や資料を参考に自分なりにまとめることができ、グループで意見を出す際は、自分の意見と皆さんの意見を聴き比べ添削していくことができ、とても良いワーク活動ができたからです。
- 個人でまとめたものがほぼ合致してたりしてまとめるための話す作業が少なかったのでそれなりに参加できたのかなと考えました
- かなり興味が出るような内容だった為。
- グループ内での意見出しはできたと思う。しかし、出た意見からさらに議論を発展させるのが十分でなかったのが課題。
- 意見を出しやすい雰囲気であり、先輩方とも積極的に話し合ってまとめることができたからです。

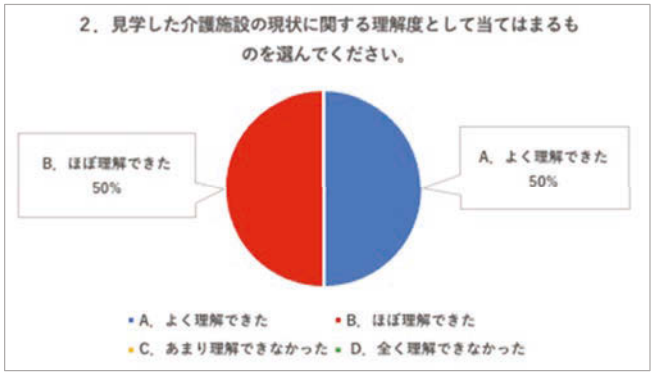
- 積極的な案出しができなかった。発言の譲り合いが多く、結果黙ってしまう場面が多くあった。場を回す進行役に誰も回らなかった且調べものに集中しすぎてしまい発言がそもそも少なく、活発なグループワークではなかったので反省が残りました。

令和７年度　奄美情報処理専門学校　PBL 講座②　講座後アンケート

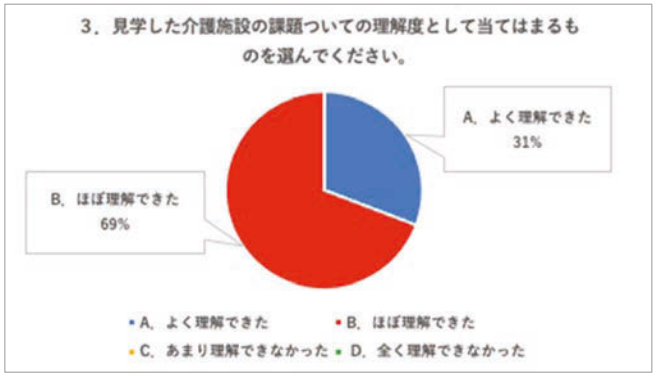
【質問１】



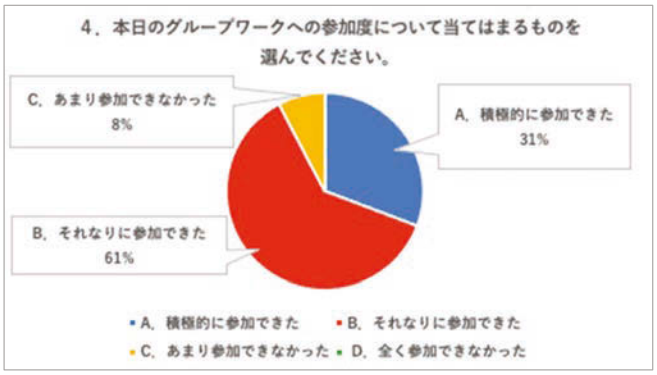
【質問２】



【質問３】



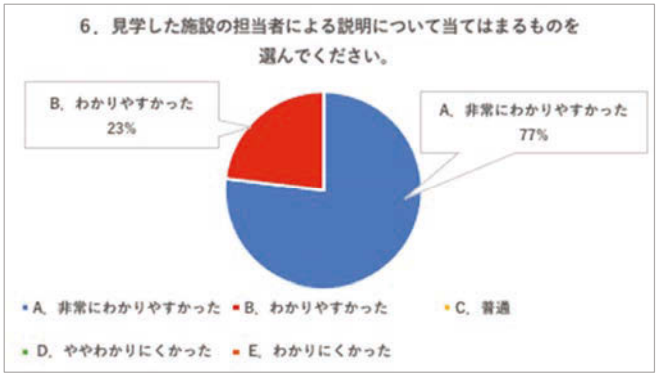
【質問４】



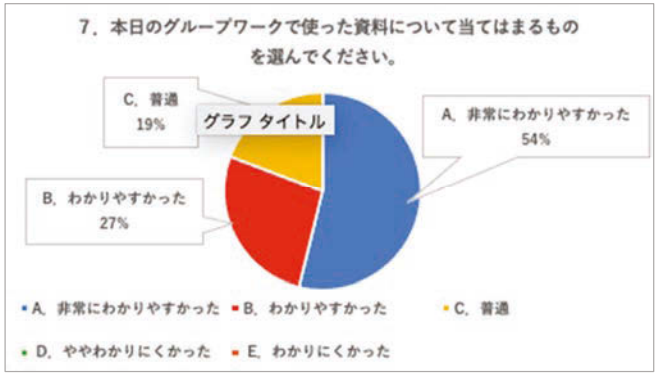
【質問 5】【４.】で選んだ選択肢の理由を教えてください。

- 企画案の話し合いはできたが、完成まで行けなかったから。
- 他の人が記入していない場所を率先して記入した
- メモなどを取ることが出来た。
- あんまりいいアイデアが出なかった
- 皆の発表を見て聞いて新しい発見や新観点での情報共有や見方があるなと勉強になったから
- 自ら話し合い、スライドをまとめた
- 十分な意見交換ができたと思う
- 話すところは話してまとめたのでまぁまぁ参加できたかなと
- 今回はチーム内の進行をすることができたからです
- 自分の意見を伝えることができたし、他の意見もしっかり聞くことができた。
- 施設に直接行き、内部現状の理解が深まったからです
- 少ししかグループワークがなかったのですが、案を出したりすることができた気がします。
- 他のメンバーが優秀で自分が書く前にその場所が書き終わっていた為。
- しっかりと話し合いをして作業することができた
- 自発的に質問やメモした内容をかみ砕いて書き出すことができた
- 意見はあまり参加できなかったが重要なところをまとめたり大事なところを赤文字にするなどみんなの代わりにやった
- 自分が考えていることをうまく言語化できなくて言葉を考える時間の方が長かった
- メモなどは取ったが積極的にどんどんまとめて書いていってくれる人がいたのでその文章について少し話すくらいであまり自分の意見を言う機会はなかった。
- どのような課題があるのかなど、みんなで話し合うことができた
- 見学したときにあまり質問しなかったから。
- 今回も全体でアイデアを出し合いながら円滑に話し合いが進んだ。全員で決めて答えを出しているので私も含め全員が積極的に参加できたと思う。
- グループのうち２人が欠けた中でのワークだったので、昨日よりも積極的に参加することでグループの負担を軽減したかったからです。
- 積極的にいろいろな意見が出ていた
- ワークを書くときに積極的に意見を言えた。
- 施設見学で得た情報をグループで共有し、まとめることができたから。
- 持ち帰ってグループでアウトプットした際に、疑問点が出てきたのでもっと質問したり深堀したりすることが必要だったと思った。

【質問 6】



【質問 7】



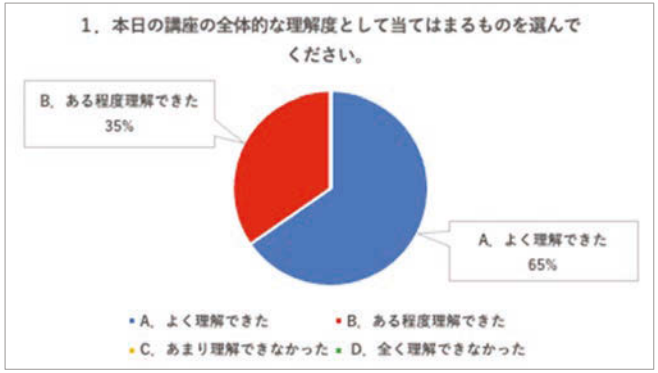
【質問 8】本日の講座を通しての感想、要望、質問などをご記入ください。

- 介護施設訪問を通して、現状と課題を知ることが出来た。よい経験になりました。
- 実際に現場を見て現場の人の話を聞いてイメージふくらんだ
- 実際に施設に行き、見学出来たので、いい経験になった。
- 確かに IT 化は進んでいたが、どうしても慣れない(不便な)部分があるらしく、満足に活用できていなかった。
- 現場に行くことで自分が思っていたイメージと現場での実際の様子を照らし合わせて知識を深めるいい機会になれた
- 施設の見学に行ける機会はなかなかないと思うので良い体験になった。個人的に施設内は電子化があまり進んでおらず、職員の負担が大きいものだと思っていたが、全然そんなことはなく、むしろ電子化がとても進んでおり時代を感じさせてくれた。
- 来週もよろしくお願いします
- 介護施設はなかなか見る機会がないし聞けない話もたくさん聞けて楽しみながら授業を受けました
- 今回初めて佳南園に伺い感じたことは、私自身が思っていたよりも IT の技術がふんだんに使われているということです。介護職は人力のアナログ作業がとても多い印象でしたが、実際の環境を見てみると利用者さんと職員さんの両方に寄り添った IT 技術を多く見ることができ、介護に対する印象が大きく変わりました！！
- 介護の環境についてなんとなく理解しているつもりだったけれど、実際に施設に訪れて話を聞いてみると、想像していたよりずっと DX 化が進んでいて驚きました。
- 直接行ってみることで、機器の用途や施設の雰囲気を知れたので凄くタメになりました。骨振動型のインカムは介護現場だけでなく様々な場所で活躍すると思います。
- 見学前に勝手にあまりシステム化、機械化がされていないと思っていましたが、見学をしてみたらほぼほぼシステム化、機械化していて驚きました。見学ができてよかったです。
- 現在、介護老人保健施設が抱えている問題の現状がよくわかり、
- それらを解決するためにどのようなシステムが必要なのを考えることができた。
- 初めて介護施設を見学して、自分が想定していたよりも IT を活用して職員の方たちの負担がかなり減っているんだと感じた。特に、骨伝導型のインカムはとても画期的で、介護施設以外の所とかでも活用されるともっとやりやすくなるんだろうなと感じました。
- 見学の奄美佳南園では色々研究されていて情報処理で作られている機械があったときはとても感動した。自分も将来はこんな機械を作ると学んだ
- 施設に行ったらほしかった機能を欲張った車いすがあって、素敵だなと思った。IT の知識を持った介護士さんが少ないと言っていたので、看護の知識と IT の知識をうまく合わせられたら色んな人を助けられる気がした。
- 虹の丘を見学をしたがある程度想像通りのところがあった。佳南園の話を聞くと IT 技術に対しての積極性のなさやおそらく資金力の違いなどもありあまり効率化がうまくいっていないようだった。虹の丘に入ったのは初めての上にリフトやパワーアシストツールなど身近に見れたのはとても良かった。
- 初めて介護施設に行き、どんな仕事をするのか、仕事をする中でどんな課題があるのか、いろんなシステムを取り入れて課題を解決して工夫しているのが見学やお話を聞いて感じることができたので良かったです。
- 介護の IT 導入はあまり進んでいないという先入観を持っていましたが、今回、虹の丘へ見学に行き、その考えが大きく変わりました。
- 寝たきりで起き上がれない方のために、リフトを使ってベッドから車いすへ移乗できる仕組みがあったり、車いすから椅子へ移る際には自動ブレーキが作動したり、足を引っかけないように足置きを持ち上げられる工夫がされていました。
- また、入浴時には滑りにくい柔らかい床が採用されており、さらに専用の機械の中に入ることで、洗剤がついている体洗いのタオルなどでこすらなくても体を洗える仕組みが導入されていました。
- このように、介護の現場で多くの IT や機械が活用されていることを初めて知り、とても良い取り組みだと感じました。
- 今回は佳南園に見学に行った。私も祖母が亡くなるまでは老人ホームなどに行っていたので、佳南園の設備の充実さに驚いた。
- 初めて介護施設を見学させていただいて素直にうれしく思っています。見学した施設も初めての受け入れだとおっしゃっていたのですが、分かりやすく丁寧な説明をしてくださってとてもありがたいです。また、純粋に初めて知れたことや介護現場の現状、そして課題など様々なことを学ぶことができてとても面白かったです。
- ２日目は特別養護老人ホーム　奄美佳南園の見学をしてきたけど自分が想像していたのとは違って IT が進んでいたりいろいろな機器を導入していて働き方の改革など職員の怪我のケアまでいろいろなことを積極的にとりえていてすごいなと思った。
- 実際に見学に行ってみて、事前に立てた仮説より働きやすそうな環境だったのでびっくりしました。情報などを管理するシステムも整っていて、職員を助ける機器もそろっていたのでイメージよりも良い環境だなと思いました。しかしこの環境が行き届いてない施設があると思うので差が埋まればいいなと思います。
- 私が訪れた奄美佳南園では、ICT 設備や機器が予想以上に導入されていて驚いた。見守りセンサーや移乗介助ロボ等だけでなく、シフトやレクリエーションの提案ソフト、独自に設計したインカムなど、DX 化に積極的な印象を抱いた。また、業務の効率化で空いた時間を入所者との交流にあてていて、介護をする上での考え方も良かった。

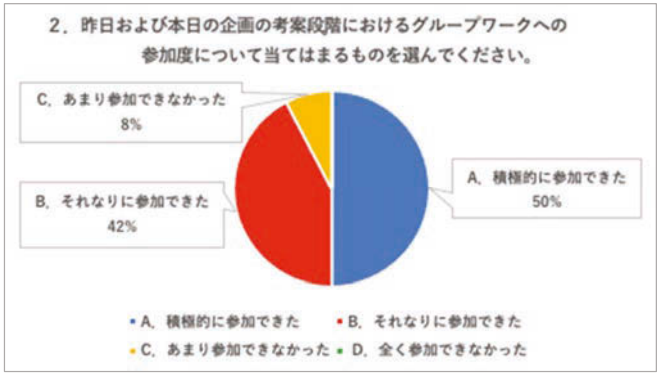
- 前日に考えていた施設の課題仮説とは全く違った状況で驚いた。
- また DX 化という言葉を初めて知り、ICT 化は手段のデジタル化、DX 化は考え方、仕組みを変えることだと知った。佳南園はどちらも取り組みに力を入れていて、職員や入居者の安全を守っているのだと理解できた。
- 改善する点がパッと見つけられないほど環境が整っていて、介護業界へのイメージが変わった。
- ただ、私たち情報分野も進化し続ける環境であるため、思考を止めずに互いに影響しあってより良い社会生活のためにできることがないか考える機会として挑戦したい。
- グループワークでの難しさはあれど、積極的に発言していきたい。

令和７年度　奄美情報処理専門学校　PBL 講座③　講座後アンケート

【質問１】



【質問 2】

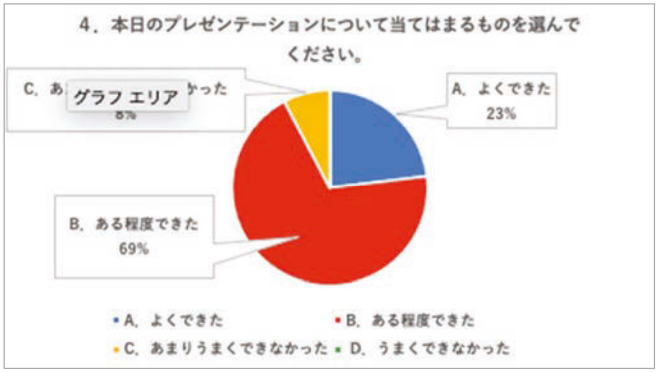


【質問 3】【２.】で選んだ選択肢の理由を教えてください。

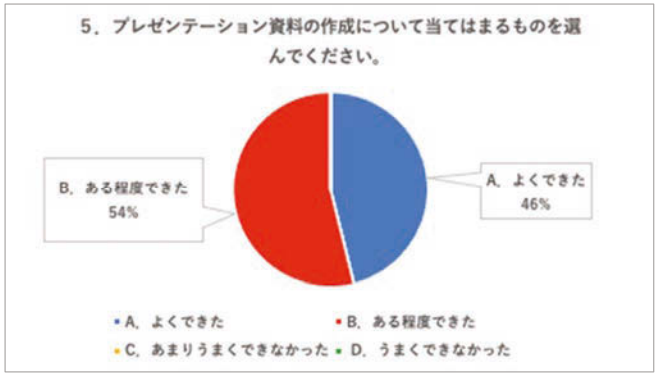
- グループ内でかなり話あったり意見を言ったりしたので。
- 自分の意見を出すことが出来たから。
- 遅刻などをしてしまったから
- 必要な情報を探したりまとめた事柄の見易さのために AI を活用しイラストを作成した
- グループメンバーと話し合いながら、スライドを完成させ納得のいくものを完成することが出来たから。
- 先輩たちと協力して発表シートを書き込んだりその発表シートを上手く紹介できたから。
- 先日のグループワークはあまり積極的に参加できなかった
- 自分含め、チームの全員で納得いく内容のものを制作できた。
- グループ内で意見を出して話し合いができたから。ただ、一回だけ休んでしまったので少しグループの方に迷惑をかけてしまった
- 文章構成やスライドをこのようにしたらよいかという意見とともに先輩たちと話すことができたから
- ほとんど話したことない１年生の人とも意見交換ができたし、話もできたから
- みんなで話し合いながら、企画を考えることができた
- 自分の中で留めずに意見を言うことができた。
- グループで意見交換しながら資料を作成することができた
- また、１年２年問わずコミュニケーションが取れたと思う
- 課題を考える・解決するワークをみんなで話し合え、発表用資料作成でも、それぞれ役割分担しながら話し合いスライドを完成でき、発表出来た。
- 今回のグループワークでは、班のリーダー的な方が体調を壊して欠席してしまったので、代わりに私が司会進行やワークのまとめなどを行いました。足りないところを沢山あったと思いますが、無事に発表を終わらせることができたので良かったです。
- 企画発表シートをチーム内で話しながら作ることができた。
- このページにどんな内容を入れようとか個々の配置をこうしようなど話し合えた。
- みんなと協力して授業に参加できたと思うが、ほかのメンバーに比べたら、そこまで積極的に参加はできていなかったと思う。
- 先輩方としっかりと話し合いながらスライドの作成などを行いしっかしと最後の発表ができた。
- 原稿をスライドにメモする作業に関して、頭が働かず上手くまとまらないまま時間が過ぎた部分もあったけど、総評するとよかったと思います。三限目終盤はおなかが痛かったのであまり話を聞けませんでした。なので、B です。
- 遅刻などをしてしまったから

- ●●さんや○●さんに頼っちゃってる形になってしまいました。作業量で言ったら１年生が多かったと思います。本当に申し訳ないです。
- プレゼン資料の作成や、企画の方向性や取捨の提案、話し合い等、積極的に行えたと思うから。
- 会話が少なく、全員で取り組むというよりは各々作業している雰囲気で終始進んだため、積極的とは言えないから。

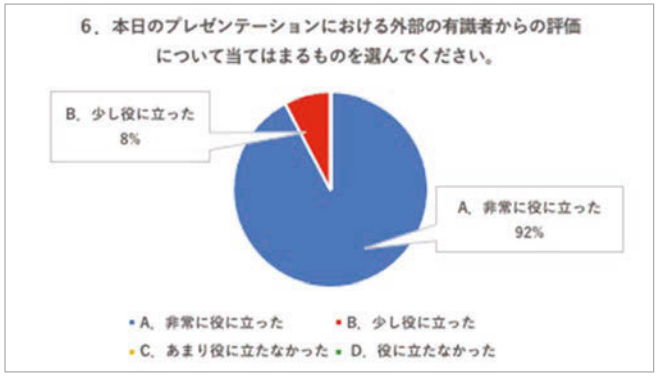
【質問 4】



【質問 5】



【質問 6】



【質問 7】プレゼンテーションに関する感想などをご記入ください。

- 他の人のプレゼン見てて同じような話してるグループがありそこと自分たちを比べたら自分たちのリサーチ不足だったり説明不足があったりしてまだまだできるところがあったんじゃないかなと反省点です。
- 自分的には PBL は好きな特別授業なのでもっと受けてみたかったです
- もっともっと広げて小中学校で IT でできることを探しに行ったりスーパー、図書館とかいろんな公共施設を回って課題を探すのもいいのかなと考えました。
- 発表してからいろいろと追加のアイディアが出てきたりいい意見を頂いて「確かに！」となる場面がたくさんあったので次はそれらを意識して卒業制作発表に取り組みたいです
- 資料を見て話す回数が多かったので、もう少し減らそうと思った。
- 大きな声で発表することを意識しようと思った。
- もう少し話す内容を整理してカンペに出来たら良かったです
- AI を活用してイラスト、画像を作るのが良かった
- 1 回目の練習発表の際の周りの人の意見や、先生方の意見を通して、推敲作業や抜粋をし、ある程度納得のいくプレゼンテーションになりました。あとは、もう少し声量を出せたらよかったと思います。
- 今までは介護にあまり興味はなかったけど介護の仕事も施設や機械などに情報処理の要素が入っていたのでとても興味が出てきて将来、自分が就職する職業がまた 1 つ増えた。
- ずっとパソコン側を見て発表してしまったので、もっと前を見て発表すればよかった

と反省しました。

- 声をもっと大きく、聞こえやすいように喋ります。
- 自分たち 2 年生はドローンや防犯カメラ以来となる PBL の授業で前回もプレゼンテーションを作ったのですが、前回と比べて今回は上手くコンパクトにまとめれたのではないかと思います。ただ、もう少し画像だったりアニメーションだったりを増やしたりして見る人が視覚的にもわかりやすくしたり、1 枚のスライドでたくさん喋ってしまったところもあったので今後こういう機会があった時には、今回の経験を生かして上手にまとめて発表出来たらなと思います。後、今回話すときも早口で途中途中噛んでしまったのでそこも修正していきたいです。
- 他のグループの発表内容やスライドショーは、最初のときよりもとても見やすくなっていて、とてもよかったと感じました。
- 特に、文字の大きさやスライドの構成、アニメーションが工夫されており、内容が理解しやすかったです。
- しかし、自分のグループも含めて「声が小さい」というアドバイスがあったので、また発表する機会があれば、聞いている人にしっかり伝わるよう、声の大きさや話し方に気を付けたいと思いました。
- 何度かパワポを作ってきたけれど、自分の中で「いつもの形」みたいなデザインで作ってしまいがちでした。今回仮発表でみんなからの意見をもらって伝えることの難しさを改めて実感しました。もっといろんな発表やデザインを見てどうしたら簡潔にまとめられてでも相手にはしっかり伝えられるかを考えて自分なりに答えを見つけたいと思います。
- 資料は、それなりにできたとは思うが発表の仕方を工夫できればいいと感じた。
- もう少し詰まらずにカメラと前を向いて発表することができたらもっと良くなったと思う。
- また、グループ交代の際にグダってしまったところがあったので、一度でも発表練習を通していたら防げたんじゃないかと思った。
- 全グループ、中間発表の時より見やすくなっていてよかった
- 声が小さいという意見は自分にも当てはまるので気を付けようと思いました
- 本番の慣れない環境で、前を向き話しかけることに意識をし過ぎで、言葉が詰まってしまった。また外部の有識者の方のアドバイスを聞き、「確かにそうだな」という課題があった。
- 今回は、あまり接点のない介護についてのプレゼンテーションでしたので、どの情報が介護に役立つのかを考えるのがとても難しく、頭を抱えることもありましたが、班の方々と話し合いを重ねるうちに自分達なりの考えをきちんと話すことができて良かったです。
- 次回同じような機会があれば、もっと声を大きく自信をもって皆さんの前でお話でき

たらと思います。

- 介護施設の課題などを知りながら、どんなものがあったら便利だななどを考えることができたので非常にためになりました。
- 全体的にはいいプレゼンができたと思う。
- 自分が発表した時はしゃべるのが途切れたりしてしまった為ちょっと失敗しちゃったと思った。
- 今回は見に来られた人の言うとおり自分自身の声が小さいと思うこととしっかりとカンペを記憶していなかったせいで途中止まったりしたけどてんしんさんとかグループの先輩方が助けてもらいました。あとはずっとカンペばかりを見ていてしっかりと周りを見たりすることができなかった今度発表があるときは声の大きさやしっかりとみてる人を見見ながらプレゼンテーションができるようにしっかりと練習を重ねていきたいです。
- どのグループも短い期間でスライドや原稿を制作し、無事発表を終えることができていたので良かったと思います。参加してくださった方々も優しい言葉でアドバイスや感想の述べていらっしゃったので嬉しく思いました。グループで協働して物事に取り組むという体験を通じてコミュニケーションの大切さを改めて実感しました。また、介護という生活の中であまり触れることのない職種やその組織・団体の現状や実態を知り、とても貴重な体験をさせていただいたなあと感慨深く感じています。この大きな二つの経験を活かしてより立派な見聞の深い大人になれるといいなと思います。最後に、PBL という形で授業をしてくださった講師の方に感謝の気持ちでいっぱいです。
- もう少し話す速度を落とし声を出して発表すればよかった
- プレゼンテーション後のお話で日常生活を送っている時にアンテナを張り巡らせてみてください、と言われたときにすごい面白いなと思いました。奄美大島は結構課題がおおいので、アンテナを張り巡らせてこれは不便だからこうしたらよくなるんじゃないかな、という考えなどを持って生活して行きたいと思いました。
- プレゼン資料作成は、最初は上手く考えがまとまらず難航したが、採用する情報の方向性が決まってきてからは順調に進められたと思う。
- 発表時は、資料も原稿も聴衆も、本当に何も見えていなかった。頭の中で情報がぐるぐる回っていて、無心でしゃべっていた。
- 滞りなく発表できたが、やはりワーク中のチームの雰囲気が心残りになった。最初に授業で「一人が頑張るのでは意味がない」という言葉が引っかかっていて、そうならないように立ち回ることが出きず力不足を実感した。

以上

令和 7 年度　文部科学省
「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」
島嶼部の課題解決に寄与するために DX を駆使できる
エッセンシャルワーカーの人材育成プログラム開発事業

成　果　報　告　書

本成果報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として、一般社団法人安全安心社会構築教育協会が実施した令和 7 年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」の成果をとりまとめたものです。

2026 年 3 月

一般社団法人安全安心社会構築教育協会